



お別れのことば／服部 豊正 氏（愛媛同友会元代表理事）

## —— パネルディスカッション ——

## 故三宅昭二氏を偲び、 学びを承継する学習会

## 【パネラー】

代表理事

川北 哲 氏

（株）創裕／代表取締役社長  
（高松第4支部）

代表理事

明石 光喜 氏

明石建設（株）／代表取締役社長  
（中讃第1支部）

理事・共同求人委員長

三宅 慎二 氏

三宅産業（株）／代表取締役社長  
（高松第1支部）

## 【コーディネーター】

中同協顧問

国吉 昌晴 氏

今回のホットメッセージは、去年8月に  
ご逝去された元相談役の三宅昭二氏を偲  
び、香川同友会の有志の行事として発起人  
を中心に、三宅昭二氏からの学びを承継す  
る形で企画されました学習会を掲載いたし  
ます。

\* \* \* \* \*

**国吉** 本日のディスカッションは、(1)企業  
づくりについて。つまり三宅さんが同友会  
がめざす企業づくりをどう実践されたか  
について。(2)地域づくりについて。三宅さん  
が同友会のリーダーとしていかに地域をよ  
くするために企業として貢献したかについ  
て。(3)同友会づくりについて。三宅さんは  
香川同友会だけでなく全国のリーダーとし  
て活躍されましたが、その活躍を私どもは  
どう学んでいくのか。以上、3本の柱で  
ディスカッションを進めていきたいと思  
います。では川北代表は、三宅さんの企業づ  
くりから何を学ばれましたか。

**川北** 会社創業まもなく、同友会について  
何も知らずに入会したのですが、三宅さん  
のことだけは人づてに聞いていました。入  
会后、経営指針を創ることになったのです  
が、正直行き詰まってしまいました。そん  
な折、偶然ですが、三宅さんから自社の経  
営指針の発表会に参加しませんかと誘われ  
ました。そのとき頂戴した経営指針書を参  
考に私どもの会社の経営指針を創ったので  
すが、それは今も続いています。現在は18  
期に入り、経営指針書は充実してきました



↑同人文学誌「飛翔」メンバー

お別れのことば↑土井 章弘 氏 (岡山同友会元代表理事)

が、三宅さんは、「経営指針書は創って何ほではないですよ。創ったときが発点ですよ」とよくおっしゃっていました。また、「変えてはならないもの。変わらないもの。時代と共に変えていかなければならないもの」ということも教わりました。それから、人育ての基本になる『労使関係』を教わったのも三宅さんです。

**明石** 三宅さんは多角経営を会員企業に勧めていましたが、私どもも建設業の傍ら、飲食業や新聞販売店などの経営をしてきました。そんな中、悩みはやはり求人でした。入会后、支部長を仰せつかったのですが、その年の兵庫で開催された全国総会に出席した際、行きのバスで隣り合わせて、道中経営の話などをお聞きしたのが最初の出会いです。その後、いろんな場で三宅さんとお会いしましたが、三宅さんほど謙虚な姿勢で物事を考え、理想をあれほど熱く語る人はいないと思います。まさにミスター同友会そのものだと思えるにつれ感じるようになってきました。ずっと、三宅さんの後ろ姿を拝見してきましたが、常にあのようになりたいという思いがありました。私自身は支部長を経て、副代表理事、代表理事となっていました。その折々に三宅さんを訪ね、「こんな私がこのようなお役を引き受けてもいいものではないか」と相談するといつも、「中小企業の経営者は走りながら身支度を整える。そんな経営をしているんですよ。だから、前を向いてやりなさい」と声をかけていただきました。私はその言

葉に背中を押されて決心することが多々ありました。三宅さんは自社の経営に始まり、同友会のことなど、本当に師と仰ぐ相談役でした。

**国吉** 三宅さんには、先代社長の三宅昭二さんの経営者としての姿を語っていただきます。

**三宅** 私が小さい頃、父の姿を家で見かけることは、あまりありませんでした。そんなですから、お父さんは他から来ている人だと思っていたときがあったように思います。そんな父ですが、私の人生の大きな節目のときは、貴重なアドバイスをしてくれました。例えば、大学は東京の大学に行け。若いときに日本の中心を見て来い。きっと何か得るものがあるはずだ。東京に行ったら東京コンプレックスをなくしてしまえという意味もあったのだらうと思います。次は大学を卒業したらどこかで修業をして来いでした。父は会社に労働組合が出来たときは非常にショックを受けていました。そのことから、労働者の本当の心の痛みがわかっていなかったということ、自分には出来なかつた他人の釜の飯を食って来いと勧めたんだと思います。お陰さまでその経験は私の大きな財産になりました。父が創った5つの大切なことを私は引き継いできました。それを活かしつつ、新しいことに少しずつチャレンジしていきたいと考えています。



**国吉** では引き続き

同友会の理念に基づく企業、そして同友会がどう地域の豊

かさに貢献していくかについて語っていただきます。中小企業は今、時代の真ん中にきていると言われていますが、だからこそ私も中小企業には地域に対する責任がますます増しているわけです。その点について川北代表にお伺いします。

**川北** 今から18年ほど前ですが、香川同友会の代表理事会とマスコミ関係との懇談会を開催したのですが、全く盛り上がりませんでした。ところがここ数年、条例づくりに関しては大きな動きがありましたし、制定後もその動きは活発です。2年ほど前ですが、三宅会長から「川北さん、香川同友会もやつと真ん中に来ましたね」と言われました。私は今後ますます香川同友会が地域づくりのさらに中心となっていく必要があると思っています。

**明石** 三宅産業(株)を通して私が感じたことは、地域のお客様をとっても大事にされてい



ることです。また逆に地域の方々に愛されている企業でもあります。毎年秋に開催している総合展示会が54回になるそうですが、当初1千名ほどのお客様が今は、5、6千人を超えるお客様で賑わう盛況ぶりだそうです。私どももぜひ真似をしたいと思っておりますが、未だに実施に至っていません。展示会は社員の皆さんとお客様が一緒になった催しで、地域になくてはならない素晴らしいイベントになっており、本当に素晴らしいことだと思います。

**国吉** かねがね三宅さんは、「我が社は365日24時間お客様に対応しなければならぬ」とおっしゃっていたそうです。また、展示会は地域の一つのイベントになっているようですが、三宅さんはどのように受け止めておられますか。

**三宅** 展示会は54年間、一度も欠かさず開催してきました。もちろん最初から順風満帆に運んだわけではありません。第1回は大失敗で二度とこんなイベントはしたくないと思った社員もいたようです。それに挫けず、少しずつ社員主体のイベントに切り替えていったのですが、それがかえって社員教育にも大きく役立っていると思います。まさに継続は力なりで、今日まで続けてきました。365日24時間お客様に対応しなければならぬというのは、40年前から実践してきたことです。先代社長は夜中に一本の電話で起こされて、よくお客様のところに出かけて行っていました。私が入社した後、20年ほど前から夜間の当番を

決めて、社員が自宅で電話を受けるシステムに変えたので、その点は多少なりとも親孝行ができたのではないかと思っております。

**国吉** 最後に改めて同友会のリーダーとしての三宅昭二さんから学んだことについて、川北代表をお願いします。おそらく学ばれたことはたくさんあると思われませんが、

**川北** 18年前、副代表理事に就任しましたが、「自主・民主・連帯の精神」、「国民や地域と共に歩む中小企業をめざす」については、理解しているつもりでした。あるとき、理事会で意見がなかなかまとまらねなくて、でもどこかでまとめなければならぬので、私が「挙手してくれませんか」と言ったとき、三宅さんが私に「川北さん、それでいいんですか」と言いました。心底ハッとしました。これでいいのかと問われているわけですが、では一体どうまとめればいいのか。正直汗びっしょりになるほど困惑しました。そして思ったのは、時間をかけて満場一致でまとまる方向にもっていくのが「自主・民主・連帯の精神」だろうということでした。そのとき私は、三宅さんを追いかけてようと決めました。この出来事が私にとって一番大きな

ものです。それから三宅さんは、「中小企業というのは走りながら自分の会社の様々なことを整えていく。俗にいう走りながら身

支度を整えるということですよ」と言われました。そして、「川北さん、同友会というのは一言で表現すると経営者として自己変革するかしないか、要するに自分が変われるかどうかなんですよ」とも言われました。経営者として自己変革して変わることによって社員が変わってくる。社員が変わると会社が変わってくるという一つの流れをつくるべきだということ学びました。三宅さんが突然亡くなって愕然とした時期がありました。これからは役員が一丸となって理論に沿った形でいろんなことを進めていきたいと思っております。

**国吉** 三宅昭二さんは、「同友会は拡大が命です。量の拡大が質を高め、量が質を成すんです。量が高まらなくて質が高まりますか。大事なのはその両方です。私たちは連帯の中にいるときこそ最も人間は幸せを感じる





のではないですか」という言葉も残しておられます。明石代表には会員増強について三宅さんのことを振り返っていただきたいと思います。

**明石** 三宅会長はいつもカバンの中に入会セットを入れていました。三宅さんは謙虚な姿勢で「まず物事を聞いた上で、この人は本当に同友会に入っているのだろうかを判断しなさい」と、そんな話をいつもされていきました。入会セットをいつも持ち歩くという、その姿勢を私も大事にしたいと思っています。今は会員増強という拒否反応が起きて、それよりもまず学びでしょうという話をされますが、でも学びをするためには一緒に学ぶ人間を一人でも増やす、会員拡大というのはそういうものだというところをしっかりと伝えながら、我々が語り部となってこの人が同友会に入ってくれると、当然本人にも影響があります。同友会にもプラスになるといふ思いを常に持ちながら進めていき、会員数1655名を達成し



中同協顧問  
国吉 昌晴 氏

たいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

**国吉** ありがとうございます。三宅慎二さんは現在、香川同友会の理事、共同求人委員会の委員長ですが、同友会の役員としてご自身はどう役割を果たしていられるかお聞かせください。

**三宅** 我が社は今年創業151年を迎えました。これほど長く続いたのは時代の要請、求めに応じて変わってきたからだろうと受け止めています。我が社に興味を持ったあの大学の先生が、「社会的多角化」と我が社のことを表現しましたが、まさにぴったりという言葉だろうと思います。共同求人今年で7年目になります。集大成の年にしていきたいと思っています。我々の大事な使命は地域に若者を残すことですが、これは全国的に共通する大きな課題だと受け止めています。そのために、学生自身への働きかけはもちろん、親御さんや先生などへのPRが今は必要になってきていると思えます。いろんな手段を通して、我々の存在を認識していただくための努力を継続していきたいと考えています。勉強会を開催し、共同求人に参加されていない企業にアピールしていきたいと考えています。同友会の中での共同求人位置づけをより鮮明にして、地域に若者を残すことを同友会全体で考えていかなければならないと思っています。



他県同友会より参加の方々

- 中同協 鋤柄 修氏 中小企業家同友会全国協議会
- 中同協 国吉 昌晴氏 中小企業家同友会全国協議会
- 静岡同友会 杉村 征郎氏 杉村精工(株)
- 京都同友会 田中 敏博氏 田中登記測量事務所
- 大阪同友会 岡本 利雄氏 いづみや岡本鉄鋼(株)
- 大阪同友会 堂上 勝己氏 梅南鋼材(株)
- 大阪同友会 宮崎 信敏氏 (株)宮崎工務店
- 大阪同友会 松本 善秀氏 大阪府中小企業家同友会
- 鳥取同友会 内田 靖子氏 鳥取県中小企業家同友会
- 岡山同友会 神馬 孝司氏 (株)ジョア
- 岡山同友会 土井 章弘氏 (一財)操風会 岡山旭東病院
- 広島同友会 竹河内博之氏 広島県中小企業家同友会
- 徳島同友会 和仁 孝成氏 日昇商事(有)
- 徳島同友会 佐々木雅信氏 徳島県中小企業家同友会
- 愛媛同友会 服部 豊正氏 アイネット(株)
- 愛媛同友会 平野 啓三氏 (株)平野
- 愛媛同友会 米田 順哉氏 (特非)家族支援フォーラム
- 愛媛同友会 安丸 雄介氏 愛媛県中小企業家同友会
- 高知同友会 西森 憲二氏 (株)タイハイ
- 高知同友会 真鍋 麻美氏 高知県中小企業家同友会

他香川同友会より 54名参加

**国吉** ありがとうございます。三宅産業(株)は200年をめざして頑張っているという決意でもあったと思います。我々同友会も100年をめざして、歴史をしっかりと築き上げていくのが現代を生き延びる私たちの使命だと改めて三宅さんから学んだような気がします。ご清聴ありがとうございました。